

8月9日(火)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

特別協賛: **TOSHIBA**
Leading Innovation >>>

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



貴重な初体験の連続！
柔らかな響きで紡がれた「過渡期」の音楽

8月7日(日) 日本フィルハーモニー交響楽団「オーケストラの醍醐味 パボラークの英雄」撮影：青柳聡

フェスタサマーミュージックの7日の公演では二つの貴重な「初めて」を体験した。

まずは現在世界で最も高い評価を受けているホルン奏者、ラデク・パボラークのミュージック指揮者デビューだ。最初に演奏されたのはウェーバーの「魔弾の射手」序曲。パボラークは各楽器の音色の強調と融合をコントロールした多彩な音色を構築し、作品のテーマである「善と悪」の対比を見事に描き切った。

続いては仲道郁代をソリストに迎え、クーラウの「ピアノ協奏曲」の日本初演。第1楽章を筆頭

にベートーヴェンの「ピアノ協奏曲第1番」と書法は似ているが、求められるテクニックは、音階やアルペジオが縦横無尽に鍵盤を駆け巡る、流麗さを強調したもの。仲道の美音、軽快なタッチと非常に相性が良い。特に旋律が装飾を繰り返しながら展開するオペラ・アリア的な第2楽章では多彩な歌い回しを聞かせ、楽曲の魅力を存分に示した。

後半はベートーヴェンの「英雄」。リズムの要素を強調し、打楽器を効果的に力強く響かせることで、落ち着いたテンポ設定で全体の響きを柔らかく統一し

ながらも、決して間延びすることのない演奏を展開。さらに大規模な変奏曲である第4楽章では、それまで抑え気味に作り上げて来たダイナミクスを一気に爆発させ、幅広い音楽性を示した。

ホルンの演奏と同じく、柔らかな響きと自然な音楽運びを聴かせてくれたパボラークの今後の指揮活動に期待が高まり、「知られざる」作品との素晴らしい出会いも経験できた素晴らしい夏の午後となった。

長井進之介
(ピアニスト/音楽ライター)



マエストロ：ラデク・パボラーク
ピアニスト：仲道郁代

終演後、サインをいただきました。

8/7 日本フィルハーモニー交響楽団

お客様の声から♪

日本フィルのレベルの高さに加えて、パボラークさんの指揮者としての素質もかなり高いと思いました。出てくる音がとてもダイナミックでした(38歳・会社員・小川健) / パボラークの指揮は心配していたが旧スタイルの堂々たるもの。我々年寄りにはなつかしく感動的であった(77歳・前田安政) / ウェーバーのホルン四重奏をたっぷり聴かせるのがパボラークの真骨頂。仲道さんの可憐な演奏が心に沁みました(61歳・団体職員・小僧さん) / 実は公開リハーサルのファンでもあります。楽団の方が私服で登場され、親近感が持てるので。本番でのプロのお姿ももちろんステキです(48歳・主婦・至福サマーミュージック) / 初めて聴きました。クーラウは佳曲♪ライブラリアンの方に感謝です♪(59歳・会社員・ナオパ) / クーラウを生演奏で初めて聴けるので期待して来ましたがやはり良い曲と再認識。全体的に自然な流れで、美しく、とにかくチャームिंगな曲(40歳代・会社員・佐藤茂)

NEXT!! フェスタサマーミュージック

明日はどう聴く? 20代応援団がナビゲート!

8月10日(水) 19:00 開演
東京シティ・フィルハーモニック
管弦楽団

ドイツ音楽の神髄! 飯守泰次郎のワーグナー

指揮：飯守泰次郎

クラリネット：ペーター・シュミードル

ワグネルの聖地であるバイロイトで長らく音楽スタッフを務めるなど、日本におけるワーグナー演奏の権威として信頼の厚い飯守泰次郎。2000年からシティフィルと共に不定期で行ってきた「オーケストラ・オペラ」シリーズは、日本人によるワーグナー演奏の到達点と讃えられたほど。ともに身も心も捧げた相棒とのワーグナー名曲集に胸が高鳴らないわけがない! 10月に新国立劇場で東フィルと共に上演する《ワルキューレ》がメインに据えられているので、飯守ワーグナーのお試しとしても最適だ。(小室敬幸 作曲/音楽学)

飯守泰次郎と東京シティ・フィルによるワーグナー演奏—この黄金の組み合わせを耳にするだけで胸が高鳴るのは私だけではないだろう。壮年期、バイロイト音楽祭にて多くの巨匠たちと共同作業を重ねてきたマイスター飯守が振るワーグナーは、聴く者を官能と陶酔の極致へと誘ってくれる。気心知れた東京シティ・フィルとは、サマーミュージックでは以前ブルックナー第7番の名演を披露した。新国立劇場のピットで更なる円熟を重ねる飯守泰次郎の音楽、真夏の夜に心ゆくまで堪能されたい。前半はウィーンの名手ペーター・シュミードルを独奏に迎えたモーツァルトのクラリネット協奏曲—これも贅沢というほかない。(平岡拓也 大学生/音楽プロガー)

「名手の競演」聴衆を魅了!



8月7日(日)出張サマーミュージアム@しんゆり! 東京交響楽団「名手の競演Ⅱ 究極の名曲集」撮影:藤本史昭

マエストロ梅田俊明、ピアニスト小山実稚恵、東京交響楽団による名手の競演Ⅱ「究極の名曲集」が新百合ヶ丘の昭和音楽大学にあるテアトロ・ジューリオ・シヨウワで開催され、満員の聴衆を魅了した!

まずは、シューベルトの「ロザムンデ」序曲でスタート。立体感のあるクリアな演奏は、さすが東京交響楽団。

続くは、あまりにも有名なラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」。緑のドレス姿で小山実稚恵さんが登場!お客様の期待が高まる。冒頭のフレーズが奏でられると、ステージが森の中に出現したかのような、何とも言えない心地よい空気が会場を包み、猛暑の新百合ヶ丘を優しく癒してくれた。私は小山さんの奏でる「ピアノニッシモ」が大好きだ!あのピアノニッシモを聴くだけで幸せな気持ちになる。第2楽章は、まさに期待を

裏切らない名演。そして、オーケストラとの絶妙な音のキャッチボールが繰り返された第3楽章。名手たちによる究極の競演がそこにはあった!

そして後半は、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」。「冒頭の4つの音は何を示すか」の質問にベートーヴェンは、「このように運命は扉をたたく!」と答えたとか。梅雨が明け、暑い毎日が続く今日この頃。まさに、「夏が扉をたたく!」いや、夏が扉を全開にした毎日だ。心地よいテンポで演奏された本日の「運命」は、猛暑の中、会場に足をお運びいただいたお客様への東京交響楽団からの「暑中お見舞い」であったように感じた。

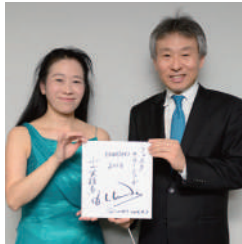
本日の公演は、まさに「最響の夏!」が堪能できた公演であった!

右近寧 (昭和音楽大学演奏センター)

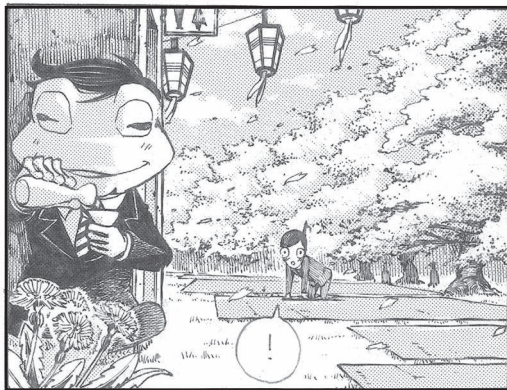
8/7 東京交響楽団

お客様の声から♪

小山実稚恵さんの演奏に感動した。とても繊細なタッチでオーケストラに負けない迫力。アンコールも圧巻でした。もっと聴きたかったです。(44歳・主婦・のまもペ) /初めてのクラシックのコンサートにきて、音に迫力があって感動しました。(13歳・学生・丸山樹) /指揮者を先頭にオーケストラの人が一つのところに向かっていく感じがしてよかったです。(13歳・学生・カピバラ)



マエストロ:梅田俊明
ピアニスト:小山実稚恵
終演後、サインをいただきました。



コンサートへの道 第14回 それぞれのベストポジション

The Road to becoming a Concertgoer

画:井上孝志
文:ミュージアムスタッフ

せっかくだからいい席で楽しみたい!一番いい席はどこですか?——チケットをお求めの際良く聞かれるのがこのご質問。ですがコンサートによって、お客様によって、「良い」とされる席は異なります。例えばピアノのコンサート。重視するのが「手が見えること」か「響きの良さ」かで、席の位置は全く別の場所に。繰り返しホールへ足を運んでいただき、ぜひお客様ご自身のベストシートを見つけてみてください。「ホールの見え方聞こえ方」というパンフレットもご用意しています。そちらもぜひご参考になさってください。

エンジョイ! 川崎!!

喫茶店 椿屋カフェ

ラゾーナ川崎プラザ3階・パートナーショップP.13

サマーミュージアム特典 チケット提示で
ソフトクリーム1品サービス
※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

暑い季節にはなぜかカレーが食べたくなる——その欲求を満たしに『椿屋カフェ』へ。店内は落ち着いたレトロな空間でカフェというよりは喫茶店のような。ランチセットの『特製ビーフカレー』にはスープ(orサラダ)とサイフォンで入れる本格コーヒータグが付きます。ビーフカレーは甘みを感じるまろやかな口どけ、後味はピリッとスパイスを感じます。今回の特典はミニ・ソフトクリーム!濃厚なミルク味がカ

レーで熱くなった身体を癒してくれます。

コンサートで耳と心を満たして、カレーでお腹も満たせる...これで完璧な夏の1日の完成です!



事業課 わ

友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージアム期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージアムオリジナルチケットホルダーをプレゼント!
(~8月11日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪
詳しくは友の会入会窓口(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現在会員の方に “最響の水” が当たる!

サマーミュージアム公演のチケットを事前にご購入の友の会会員様、各公演抽選で20名様に“最響の水”をプレゼント!(当選者の座席番号を当日ロビーに掲示いたします。)

スタックアップ日誌

当日の感動をすぐお届け!!

毎日 日刊サマーミュージアム Hobo Nikkan Summer Muza



バックナンバーはミュージアムホームページでも公開中!
http://www.kawasaki-sym-hall.jp/

チケットセンター三人娘
今回はチケットセンターのお話を少し...
のフェスタも終盤に差し掛かり、夏真っ盛りの中、この頃です。フェスタはもう2ヶ月から始まり、チケットの準備もそろそろ完了です。お客さまにとっての第一歩となるこの時、チケットセンターのスタッフは、お客様に最高のサービスを提供するために、日々奮闘しています。お客様に少しでも快適なコンサート体験をしていただくために、スタッフは、お客様に最高のサービスを提供するために、日々奮闘しています。お客様に少しでも快適なコンサート体験をしていただくために、スタッフは、お客様に最高のサービスを提供するために、日々奮闘しています。